

関原支部 恒例の新年会に7人が参加 懇親会でも消費税やインボイスが話題に

関原支部は1月16日(木)夜、恒例の新年会を行い、支部役員・各班の班長をはじめ7人が参加しました。

原松一支部長のあいさつの後、事務局より「消費税5%への引き下げ・複数税率・インボイス制度廃止の運動を上げよう」、「班で集まり、インボイス制度の危険性や矛盾について学習しよう」、「仲間を増やして、強く大きな長岡民商をつくろう」、「全商連会館建設募金に引き続き協力を」など、春の運動の重点について話しました。次いで1回目の班会について話し合い、日時を決定しました。

例年、関原支部では申告に向けて、可能な限り2回の1月下旬より班会を行います。これまでは各班とも確定申告までに2回の班会を行ってきました。初回の班会では「自主計算パンフレット」を用いて、所得税や消費税などに関して学習し、2回目の班会で具体的な申告相談を行ってきました。会員(班員)減少のため、班会の開催が難しくなっている班もあり、今回は合同班会となります。関原支部では、一昨年からインボイス制度について繰り返し学習してきましたが、今回の班会でも、この制度の危険性や矛盾について学び予定で

です。
引き続き行われた懇親会では、仲間と楽しくひとときを過ごしましたが、消費税やインボイスが話題に上り、事態の深刻さを改めて実感しました。

関原支部では、支部新年会を行った翌週の日曜日の朝(当日都合がつかない場合は別の日時に)、「電話なんでも相談会」チラシを地域に配布する活動を行っています。今年も合計300枚を会員の住む地域などに配布しました。



乾杯！今年もよろしく！



長岡版

発行編集
長岡民主商工会
長岡市中沢167-1
☎ 33-5948

2020年
1月27日
第1989号

税務署より、確定申告の書類が送付される頃となりました。忙しい中ではありますが、帳面のまとめなど、早めに申告の準備をしましょう。

全商連 地域別新春決起集会 長岡民商より2人が参加

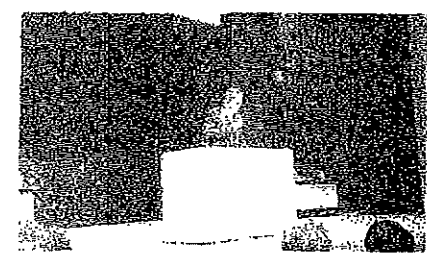
1月19日(日)、埼玉県本庄市にて、北関東4県・信越2県による全商連地域別新春決起集会が開催され、長岡民商より椋澤政晴会長と金内事務局長が参加しました(参加総数265人、新商連から33人)。

主催者あいさつを兼ねた報告に立った全商連・橋沢政實副会長より、会員増勢(拡大)や消費税5%への引き下げ署名など、春の運動に関する提起がなされました。

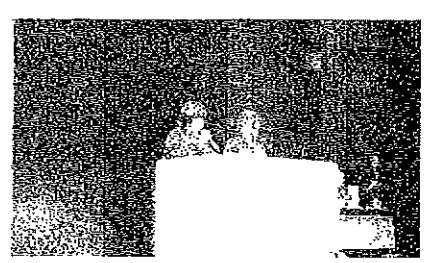
また、日本共産党・塩川鉄也衆院議員は「みなさんの活動が地域、そして日本を支えている。政治の流れを変えるため、共にがんばりましょう」と連帯のあいさつを行いました。おたりの話に共通していたのは、消費税引き下げもさることながら、「市民と野党の共闘が深まっている」ということです。この流れをさらに進化させ、今年こそ安倍政権を退陣に追い込みましょう。

引き続き行われた学習講演会では、消費税をなくす埼玉の会常任世話人の永塚友啓税理士が「増税しないことが最大の景気対策」、「(増税後の)景気対策は企業に還流、消費者のためではない」、「消費税が上がれば物価が上がる。消費税は物価そのもの」と訴えました。(学習講演会の資料あります。ご希望の方は事務局まで)

各県連の決意表明で、新商連から発言に立った村上民商は主に役員会の取り組みを、新商連婦人部協議会(県婦協)は業者婦人決起集会に向けた取り組みを報告しました。



新商連(村上民商)の報告



県婦協の報告